



こいずみいさむ
小泉勇さん
旬小泉園代表取締役

いけだきよし
池田喜芳さん
信州中野商工会議所
専務理事職務代理兼事務局長

いけだるみ
池田恵美さん
(旬信濃植産種苗
中野市商店会連合会副会長

はらやまぐみこ
原山久美子さん
(旬竹内製印社
中好会商店会長

ちまたみさ子
町田美佐子さん
サンダースすずらん代表

こばやしきみこ
小林君代さん
やおよしの奥様

お茶飲み座談会

～まちゼミを熱く語るの巻～

まちゼミ開催のきっかけは何だったのですか。

池田(喜) 全国で商店街活性化の動きがある中で、まちゼミ・バル・100円商店街は3種の神器と呼ばれています。特に若い方は、郊外の大型店で買い物をし、商店街にどんなお店があるか知らない方が多いと思います。商店を知ってファンになってもらうため、まちゼミを中野市で開催してみようということになりました。

池田(恵) 商工会議所主催の綾野昌幸さんの講演会を聞いたことがきっかけでした。中野市に合った事業は何だろうと考えたときに、まちゼミが入りやすいかなと。勉強するうちにどんどんやる気になっていきました。

池田(喜) 商売をしていてこのままで良いという感覚はいけません。お客さんの声を聞けば、ニーズに応えるよう努力したり、商品開発の意欲が生まれる。まちゼミの開催を機会に、商店が変わるきっかけになれば良いと思いますね。

まちゼミの開催に不安はなかったですか。

原山 最初は「そんなのやつ

ても何も変わらないよ」と言う方もいらつしやいましたね。恵美さんが熱心に声掛けしてくださったのが良かったと思います。

池田(恵) 有志で一軒一軒回って説得しましたから(笑)。原山 皆さんに知ってもらうまでが大変でしたね。

池田(恵) まちゼミの第一人者である松井洋一郎さんの話を聞けばやる気になってもらえらると思ひ、講演会を開催しました。講演会当日は、商店街だけでなく市内各地から60人の参加者が集まり、とても感激しました。

町田 参加して良かったです。知らなかったお店の方とも知り合いになりました。小林 皆さんのやる気に驚きますね。新しい取り組みに期待しているのかもしれない。小泉 みんなこのままじゃいけないという危機感を持って

原山 お付き合いで参加され



た方が、ゼミの申し込みの電話が来たと驚いていました。「どうしてうちのお店なんか」って。お客さんの知りた



講座のテーマはどのよう

小泉 お茶屋なのでお茶の話でもしようと思ひました。お茶の入れ方など誰もが知っているものと思ひていましたが、皆さんに教えてほしいと言われる。「自分にとっては当たり前なことでも、お客さんは知らないんだな」とあらためて感じました。

池田(恵) 専門のことでなくても良いと言われたので、私は自分が気楽に話せる教育をテーマにお話することにしました。

小林 敷居が高いと店に入りづらいと思ひ、工作を楽しみながらお茶飲み話ができる講

座にしました。

町田 化粧品はインターネットやドラッグストアなどで簡単に買えるようになりましたが、間違つて使うと肌トラブルを起こしてしまいます。その人に合う化粧品は肌によっても、季節によっても違います。そういったことを知ってもらおうきっかけになればと思いました。

原山 興味があつたら受講してお店の人の顔を覚えてほしいですね。知っている人がやっているお店だと相談や買い物もしやすくなりますから

まちゼミの魅力は何でしょう。

原山 まちゼミは、お客さんによし、商店によし、まちによしの「三方よし」の事業と言われています。

池田(恵) まちに出掛ける楽しさを実感してほしいですね。



町田 まちゼミを通して初めて入ったお店もありました。

まだまだ知らないお店がたくさんあるんですね。参加店なのに勉強になりました。

池田(喜) 商店同士も意外にお互いを知らないんだよね。

池田(恵) まちゼミをきっかけに、お店同士がつながるようになりました。

原山 まちゼミは短期間でたくさんのお店を宣伝できるというメリットもありますね。

池田(恵) これまでは、商店会の会長さんたちの話し合いで決定し、開催する事業が多かったですが、まちゼミは1店から、いつでも参加ができるし、これからの可能性を感じます。

原山 同じ思いを持った方がたくさんいらつしゃるということが分かっただけでもよかったです。

小泉 お客さんはお店に入ると何か買わないと帰れないと身構えてしまう。まちゼミは

無料なのでこの機会に気軽に来店してほしいです。

小林 押し売りは絶対しないので、まちゼミは気軽に受講できますね。

池田(恵) 気楽にお話ししましょう。市民サービスなのでどんどん利用していただきたいです。

小林 皆さんには得した気分です。帰っていただきたいですね。

まちゼミに期待することとは何でしょう。

原山 初めて来店される方にお店を知ってもらいたいです。そして、商店を頼りにしていただけたらうれしいです。

小林 とにかくまちの中を歩いてもらいたいです。人が歩いていないまちは寂しいですから。

池田(恵) お店にいけば「人」と「お茶」があります。「何か得することがありますよ」ということをぜひ



知ってもらいたいです。

池田(喜) 店主さんが楽しんでもらいたい。商売の楽しみが何であるかを考えるきっかけにしてほしいね。

原山 今回は受講者が少なくても、次回はこうしようという前向きな気持ちの変化につながっていったら良いと思います。

池田(喜) お店の改善策は、よそから聞こえてくる。お客さんの声を他店に届けられる関係を作れたら、皆さんが良くなると思います。

最後に皆さんにとって理想の「まち」とは何でしょう。

池田(恵) ぶらぶら歩けるまちかな。コミュニケーションの場としても利用できる商店街が理想ですね。

原山 買い物だけでなく、出掛けたいようなまちが理想かな。

小泉 会社や学校が休みの日に、まちを歩いていただけのような工夫が必要。そのためにも、日曜日は店を開けてお客さんを迎えてあげたいね。

池田(喜) 商店が自らお客さんに入りづらい環境を作っていないといけないですね。お客さんがぶらぶらと入れるようにお店側も修正していかないと。市外からお客さんを呼んでくるよりも、市内の方に買い物に来ていただいた方が店としても効率的です。

池田(恵) 商店とお客さんは友だちという関係が築けたら良いですね。

小泉 お茶飲みに来てもらうだけでもいいですよ。

池田(喜) 商店街で使える「お茶飲み券」でも作りますか(笑)。

池田(恵) 理想のまちづくりはこれからですが、今回のまちゼミには本当に期待しています。とにかく開催する側が楽しんでいきますから。「市民が楽しい、店主も楽しい、まちゼミ楽しい！」

一同 広報のお二人も、もちろんまちゼミに参加してくださいね！

私たちも参加します！皆さんもまちゼミに参加して得しましょう。